

第82回 靴の記念日

日本靴連盟主催の靴の記念式典が三月十二日（金）午前十一時より東靴協会西村記念ホールにおいて42名が参加して行なわれた。

栗原茂常務理事の司会の下、日本靴連盟副会長・(一社)皮革産業連合会会長、岩崎幸次郎氏が、「厳しい環境が続いている業界ですが、明治三年に日本が開国をした時代の想いを馳せ、製造業、卸、小売業が一同に非常に喜ばしい事だと思います。」と開会挨拶。

主催者の日本靴連盟、小堤幸雄会長が「アベノミクス効果も川上の方から現れているようですが、円安の影響、来年の消費増税、TPPなど厳しい環境はまだ続いて行くようです。2020年のオリンピックもあり景気が上向くことを期待します。又、将来に向かい日本製品の良さ、ファッショன、環境に優しいエコ製品の普及等を世界に向けてアピールしてまいりましょう。」と



一般社団法人
東靴協会
千代田区鍛冶町1-6-17
〒101-0044 ☎(3252)5656

(4月号)

シユーフィッターの皆様へ
住所・勤務先等変更が
生じた時は必ず協会までご連絡を願います

革産業連合会会長・岩崎幸次郎氏、同副会長・藤原仁氏、日本靴連盟理事・春田英一氏、協同組合資材連理事長・西谷秀機氏、日本靴連盟理事・東條英樹氏に続き参加者全員が「一礼二拍手」札を行い式典は無事に終了した。

が一堂に集まり記念日を祝い、
発展を祈ることは意義の深いこと
であります。現在靴を取り巻く状況は貿易自由化による競争の激化など、大変厳しいものがあります。経済産業省としても、できる限りのご支援ご協力を
をしてまいります。これからも業界の発展をお祈り致します。」と挨拶をされた。

ト
した

インジエクション製法工場とのことで、機械化されているのは、と思っていたが、釣込み・打込み、型にセット・染色・仕上げなど現状はかなりの部分で人の手が必要で、手間のかかる工程だった。この工場ではボンステップを一日に450足の生産を行っているそうだ。見学が終了後、会議室で質疑が行われ、ウレタンソーサー

インジエクション製法工場とのことで、機械化されているのではと思っていたが、釣込み・打込み型にセット・染色・仕上げなど現状はかなりの部分で人の手が必要で、手間のかかる工程だった。この工場ではボンステップを一日に450足の生産を行つてゐるそうだ。見学が終了後、会議室で質疑が行われ、ウレタンソーラーの経年変化は、など熱心な質疑応答が行われた。

昼食を、そば店「孝美」で済ませ佐倉市の「国立歴史民俗博物館」を見学した。近くの佐倉市民体育館前の「西村勝三像」に立ち寄る計画だったが、時間が関係で2名が向かいの確認した。その後岐路につき神田で解散した。

東京近郊はもちろん、国内での工場が減少しているため貴重な体験をした。

工場見学実施

教育研修委員会では3月20日(金)に大塚製靴千葉工場見学を実施した。朝9時に協会前を参加者18名を乗せ、マイクロバスで千葉へ向かつた。途中休憩を入れ11時過ぎに工場へ到着し、大木課長様の説明で見学がスタートした。



業界情報報

営業活動の意識改革

我が国の靴ビジネスは円安という大きな波に飲み込まれて変革期を迎えており、人件費の高騰が続く中国でも履物産業が変革期に入っている。2010年代に入り政府、業界挙げて量から質への転換と人材育成による開発・技術力の向上、生産の省力化などをはかりつつある。ただ、広大な国土での貧富の差の拡大とともに企業格差も大きく、依然として近代化が遅れている工場も多い。それらの工場が引き続き安価な製品を要求するバイヤーに対応しているが、長くは続かず淘汰されるだろう。一方、中国で成功した中には安価な労働力を求めアセアン諸国へ工場移転を行い、バイヤーに対応する企業もある。

しかし、アセアン諸国での賃金上昇も進む。また、旧正月明けの労働力問題は依然として生産確保、企業存続に影響を与えており、この面でもアセアン諸国で同じ問題が起きている。いつまでも、安価な製品の確保を追い求めていては、いつまで経っても品質、デリバリーをはじめさまざまなりリスクを抱えた貧しいビジネスになってしまいます。

ざまなりリスクを抱えた貧しいビジネスになってしまいます。

この機にこそ、業界各社は根本的な経営改善に取り組むことが重要だ。その最重要課題が新価格体系への移行である。メカニクが適正な利潤を得ることを前提とした製品開発、生産、営業活動が連動していかなければならぬ。製品開発はメカニクの自助努力で、生産も技術の向上を図ることで、採算性、品質、デリバリーの適正化もはかれ。しかし、問題なのは売り場の価格設定に合わせることが習いとなつている営業活動であ

る。これは、メカニクが前年の販売実績を確保することをベースに営業戦略を立てる背景がある。売り場での商品構成はシーザン毎に変化するが、それを無視した販売実績の営業戦略は、売り場の価格志向と安売り競争に落ち込むことになる。この泥沼に入らないために、売上目標ではなく利益目標の営業戦略を徹底することだ。各メーカーが利益を目標にした営業活動に舵を切れば、特色を打ち出した新たな価格体系による様々な商品が提案されて売り場も活性化することになる。

(シーブズボスト紙より)

今後に備える

今年の3月をもつて「革靴のメキシコ枠」が廃止された。既にカンボジア、ミャンマー、バングラデシの特惠国は革靴の輸入は無税、無枠であり、それと同じ条件となつた。

すでにアセアン各国やインドなどは、輸入枠は撤廃され、関税も現状から毎年10%ずつ下がって10年で0になる。現在、TQ制度の対象はヨーロッパ、中国、韓国、アメリカなどで、円安による輸入の減少で、昨年度の輸入枠はかなり余つたと言われている。

銀座セントメリーフジヤマ倒産

婦人靴小売の(株)銀座センターフジヤマと親会社の(株)財設は3月18日、破産手続きの開始決定を受けて、事実上倒産した。負債額は約11億円。店舗は新宿京王モール店、上野マルイ店、シャンボーハン八幡店、シャンボーハン市川店の4店。最近ではケミカルシーブズが主力だった。昨今は、サンダル、ロングブーツなどの季節商品の不振。さらにアパレル店のケミカルシーブズの扱いが増えた影響を受けたのだろう。それに、問屋を通じた商いでは、仕入れ値は基本的に60%前後であり、40%の粗利では駄目だなどとのコストをまかなうのは、難しかったと思われる。既に靴専門店チエーンでは、国内問屋を通さない海外メーカーとの直接取引が普通であり、4店舗の規模では生き残りは難しかったのだろう。

既にヨーロッパとのFTA交渉が妥結している韓国では革靴の関税も0となり、ブランドによつては、日本より安く買えるかもしれない。

今後どのような事態になつても、対応できるような心構えが必要であろう。(栗原)

クレジットカード利用率14%に

経済産業省によると、14年のクレジットカード利用額は昨年10%増の42兆4322億円だった。家計支出の約14%相当で大幅に増えている。

しかし、アメリカの24%、イギリスの25%、韓国の58%などと比較すると、まだまだ相当低い。

デビットカードの分まで含めると、アメリカが54%、イギリスが53%と過半数を超えており、欧米主要国では数百万円の買い物もカード支払いが一般的だ。一方、東欧やロシアなどはまだ現金がメインだ。

現金主義の日本でカード払いが増えてるのは、ポイント還元が大きい。主だったカードの還元率は0.5%だが、新興の楽天カードやリクルートカードなどは、1~2%と高く、nanaloなど流通系カードへのチャージにもポイントがつく。実質賃金が下がる昨今、家計にはありがたい。

政府は17年から税金・年金・保険などをクレジットカードでも納付できるようにする予定だ。ネットショッピングも13年の11兆円のうち6割がカード決済だった。(シーブズボスト参考)

変わらシヨツピングセンター

○物販から人が集い

時間を消費する空間に

昨年11月から12月にかけイトヨーカドーが核店舗の「グランツリー武蔵小杉」、イオンが核店舗の「イオンモール岡山」を展開し、新しいスタイルのSC(ショッピングセンター)として話題を始めた。

SCが提供するものが、物販から時間・空間へと重要度が変化している。

「グランツリー武蔵小杉」は、1~4Fを物販、フード、飲食、サービスを提供するフロアとしており、駐車場は地下1~2Fに設けている。これまでシャワーフィルムを期待して上に設置するのが一般的だったが、同SCでは駐車場に変わり屋上庭園「ぐらんぐりんガーデン」を設けた。4300m²と、商業施設の屋上提案では日本最大級の広さを誇る。親子三世代に対し、ショッピングの予定がない時でも、気持ちの良い時間を過ごしてもらいたい、という考え方で、魅力的な空間を提供している。

郊外での大型モールを展開していたイオンが、市中の駅と直結して誕生したのが、「イオ

ンモール岡山」だ。地下2~地上7階までテナントが入り、駐車場は5階から上になるが、こでも第2のブランドフロアとなる5階に、5~7階のショッピングモールのように、屋上オアシス空間「ハレマチ・ガーデン」が設けられており、一日中楽しめる空間を提供している。また、行政や公共施設、情報発信の施設、さらには保育所やクリニツクを導入しており、モノだけではなく、地域の生活に応じた暮らしの提供を行う商業施設に取り組み始めている。

「ららぽーと」を手掛ける三井不動産も、埼玉県富士見市に開発中の「ららぽーと富士見」では、モノから時間や空間、体験を消費する場の提供を目指している。ららぽーと最大となる4万2千m²の緑地を建物の周囲に確保し、人が集まり、憩える場所にしている。また、地域を盛り上げるためのコミュニティの拠点にしようと、地元農協と組んだイベント開催や許可保育所やクリニックの誘致で二世代の地域住民の暮らしのサポートを目指している。

○地域の暮らしをつくる
SCの考え方の変化は、すでに各地に大型SCが出そろい、推移していく。

大型モールが旬でなくなっていることがある。このためモールに個性を出すことが求められており、店で街をつくることから、地域の暮らしをつくる時代になっている。
ここで傾向は、地域の生活に応じた開発を進め、これまでの若いファミリーにとどまらず、三世代の客層を取り込むことを目指している。

○アパレルの専門店が増える
SCが時間のための施設づくりに取り組んでいる中、定期的に、売り場内でイベントを行うことともこれから求められて、アパレル企業の専門店の新業態が増えており、SCの中では一定の勢力に成長している。

○店内でイベントの開催
SCが時間のための施設づくりに取り組んでいる中、定期的に、売り場内でイベントを行うことともこれから求められて、アパレル企業の専門店の新業態が増えており、SCの中では一定の勢力に成長している。

SCが時間のための施設づくりに取り組んでいる中、定期的に、売り場内でイベントを行うことともこれから求められて、アパレル企業の専門店の新業態が増えており、SCの中では一定の勢力に成長している。

足型計測やフィットティングのイベント、靴手入れセミナーなどワーキングで集客し、売り場のファンづくりに努める。また、修理や手入れなどのサービス提供を、イベント性を持たせて実施する。

(FW誌より)

グシユーズによるコンフォート提案する業態に取り組むところも出でている。こうした売り場は団塊世代を対象に店づくりをしているが、アパレル的なファッション要素も備えていない。

これらを行うためのスペースを売り場の中に設けることも必要になる。

○直営店の出店

直営小売店舗を展開するメー

会社名	店舗名	店舗数
アシックス	アシックスウォーキング	76
リーガルCO	リーガルシューズ	69
三栄CO	ビルケンシュトック	64
ハピーシューズ	ハッシュパピー・SS	47
リーガルCO	キャメロット	45
カワノ	パークレー	41
エイチ・エム	コンフォートクリニック	34
アマガサ	ジェリービーンズ	31
ハヤシゴ	トゥール・モンド	30
フィットフィット	フィットフィット	29
ハヤシゴ	モネ	25
リーガルCO	リーガル・ファクトリーS	23
ユナイテッドアローズ	オデット・エ・オディール	23
デッカーズジャパン	アグオーストラリア	18
EVOL GENESIS	イーポル	16
クラークスジャパン	クラークス	16
リーガルCO	リーガルシューズa.k.a	14
ペイクルーズ	ルタロン	13
パンジー	パンジーショップ	13
テヤール&キースJ	テヤールズ&キース	13
馬里奈	グリッター	12
リーガルCO	クラークス	12
リーガルCO	ナチュラライザー	12
キャラバン	キャラバン	12
エバニュー	MBT	12
ハルタ	ハルタ	11
山陽商会	山陽山長	10
アディダスジャパン	ロックポート	10
ライフギア-CO	トレイディングポスト	10
トップワイン・ジャパン	ミネットンカ	10

理事会・支部連絡会

だより

平成二十七年三月二十三日
午後2時、西村記念ホール

司会の川上副会長より参加
者22名の報告に続き、小堤会
長が「桜の便りが聞かれたかと
思えば、北では猛雪風と日本
列島の広さを感じます。

寒暖の差が激しい折、体調に
は、「ご留意ください。」と挨拶。
引き続き議事に移った。

一、平成27年度

収支暫定予算案について

佐宗専務理事より6月の総
会に向け、資料を配布し、田中
事務局員より詳細な説明があ
った。佐宗専務より前年度との
差異に関する補足が行われ
た。全員原案を承認した。

二、工場見学の結果について

矢代副会長より3月20日に
行われた、大塚製靴千葉工場
見学の詳細な報告があった。

三、中堅社員研修会について

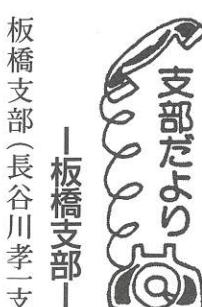
月15日(水)午前10時より、講
師にアジアリング(株)坪谷聰子
先生にお願いして行う「中堅社
員研修会」の説明があつた。ま



一、板橋支部

板橋支部(長谷川孝一支部
長)では、昨年の夫婦同伴での
新年会が好評を頂いたため、本
年も奥様方を労いたく二月十
六日(月)に平成27年度東靴協
会板橋支部の新年会を、五味
調和の教えを守る「つきぢ・田

がり散会致しました。
美味しい料理とお酒、そして
組合員の笑顔が、明日の活力に
なると確信しました。



一、板橋支部

事務局より今後の予定を報
告。

五、その他

小堤会長よりSF養成講座
が、関西では6月16～18日に神
戸元町「ひょうご共済会館」
で、東京は7月22～24日(会場
両国・ファンションセンター)に開
催されるとの報告。

た、参加促進の要請を行つた。
四、シユーフィッター養成
講座FHA委託について

村で開催した。
当日、支部長が急遽参加で
きなくなつてしまつたが、11名が
参加して行つた。

午後7時からの開宴でした
が、全員が定時前には揃い、ゆつ
たりとした個室で副支部長の
挨拶で開会した。

高級会席料理と美味しいお
酒を堪能し、話も弾んだ。

昨年末に支部では、ご愛顧
頂いているお客様へのサービス
としてブランケット等をプレゼン
トしました。大変好高評を頂
け、今年もお客様に喜んで頂
けるものを探して続けて行こ
うと決定し、一本締めで盛り上
がり散会致しました。

東京都中小企業景況調査(2月) 業況:依然として足踏み状態続く 見通し:一時後退から戻す

対象数	回答数	回答率	業況			
			2月		今後3か月間 見通し (当月比)	
			悪い	良い	悪い	良い
875	355	40.6%	-100	0	100	-100
森・身回り品			1.男 子 服			
			2.婦人・子供服			
			3.靴・履物			
			4.かばん・袋物			
			5.装身具・身の回り品			

対象数	回答数	回答率	業況			
			2月		今後3か月間 見通し (当月比)	
			悪い	良い	悪い	良い
875	287	32.8%	-100	0	100	-100
衣料・身の回り品			1.呉服・服地・寝具			
			2.男 子 服			
			3.婦人 服			
			4.子供 服			
			5.靴・履物			
			6.かばん・袋物			
			7.雑貨・身の回り品			
			8.時計・眼鏡			
			9.ジュエリー製品			

ました佐藤元支部長が昨年末
に病気悪化のため、またほか2
店も病気等で活動参加が出来
なくなり退会した。
本年の役員も、また支部長
に清水さん、理事に青木さんに
お願いして(理事の須藤、監査
の須賀は留任)今年度から新
たに活動していくことになった。

懇親会では佐宗専務理事が
本部建物の震災時の模様から
昔の町並状態や東京の変遷、
最近の海外旅行者の購買力等
のいろいろな情報を話された。
飯店自慢の中華料理を楽し
みながら和気あいあいと語り
合い良い時を過ぎし明日への活
力とした。
(須藤)